

東 日夕新聞

九百十二號



一萬齋  
方

武州秩父郡芳ヶ  
久保村の農何某ハ沙魚を取らん  
網と携へ七歳丁成りし児と連  
て溪川に臨み小児を川岸に遊ばせ置  
已まぬ網を打ら入して彼方此方と漁を  
しつ歩行し小児ハ忽ち声  
揚げてアレと聲を蛇が坊を食  
ふよと叫ぶを駭け附け見よ小桶  
程の鱗々後の山より蛇疑の  
既ハ吾子と九吞と

せんとする勢ひあるを側有り  
合ふ杉の丸木とテ取りて力を極めてト  
打て六鱗の忽ち草木と推し分け  
後の山へ逃げ隠れ此の小児何の  
昏り事もある其父も煩ふ事  
を絶えざるしと此の  
細打の膳の太き刃

具足屋  
ホリ栄

75  
70  
65  
60  
55  
50  
45  
40  
35  
30